



羽沢こどもの森体験イベントを開催

～緑被率 23 区第 1 位のみどりを活かした遊び場作りへ向けて～

と き 11月9日(土)・10日(日) 午前10時～午後3時 ※小雨決行

と ころ 羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30周辺)

9日、羽沢けやき憩いの森(羽沢3丁目)周辺を、自然の中の遊び場として開放する「こどもの森体験イベント」が開催され、近隣の児童や幼児ら175人(正午時点)が「練馬のみどり」を楽しんだ。

区は、子どもたちが木登りや穴掘りなど、自然を活かした冒険遊びを通じて、みどりに触れ親しみながら、その豊かさや価値を実感してもらうことを目的とした「(仮称)こどもの森」の平成27年度開園を目指して、取り組んでいる。体験イベントは今回で5回目の開催で、みどりの環境資源を活かした創作的な遊び場作りは、23区でも珍しい。

4歳の子どもと参加した男性は「キウイの数にびっくりしました！みどりの中で土に触れさせてあげられるのが嬉しい。練馬にはみどりがたくさんあるけれどこういう場所をどんどん増やしてほしい」と話してくれた。また、子どもたちは、「たくさん遊ぶものがあって全部楽しい！キウイ畑は初めて！」と嬉しそうな声があがり、イベントを楽しんでいるようだった。

この体験イベントは2日間限定で行われ、明日10日(日)も開催される。入場無料。当日参加可。駐車場なし。



【巨大なコナラ登りに挑戦！】



【キウイ収穫体験】

【当日の様子】

この日は、親子連れや近隣の保育園児など175人(正午時点)が訪れ、会場では自然のアトラクションを楽しむ子どもたちの歓声が響き渡っていた。

会場には、子どもたちが自由に遊びを創作できるエリアや樹林地を活用したロープワークエリアといった、自然と一体となった遊び場が設置された5つのエリアが用意され、子どもたちは夢中になって冒険遊びを楽しんでいた。

森の木々に大人の背丈ほどの高さにロープを張り、歩いて渡る「モンキーブリッジ」や、ハンモックなどの自然の木を活かした遊具をはじめ、高さ1.8メートルほどの木製の箱を組み合わせた「冒険ボックス」などが設置された。子ども達はロープにぶら下がったり、冒険ボックスに登る速さを競走したりと、それぞれの遊び方を探しながら、楽しんでいた。

また、敷地内では収穫時期を迎えたキウイを、収穫し持ち帰ることができ、親に抱えられながらキウイをもぎ取る子どもたちの歓声があがっていた。

同イベントには、開催地付近にある区立開進第四小学校と同校PTA、地元町会などからも協力を得て、地域一体となって実施している。

【23区で緑被率第1位の練馬区ならではの取り組み】

23区で緑被率が最も高い練馬区には、風格ある屋敷林や雑木林がまだまだ残っており、昔ながらの風景を今に伝えている。現在は、「憩いの森」や「街かどの森」という名称で区民が憩えるスペースとして開放している。今あるみどりを守り、増やすことは区の重要課題。練馬のみどりを継承し、将来にわたり保全していくために、練馬区では子どもたちがみどりの中で冒険遊びができる「(仮称)こどもの森」を設置していく。

【問い合わせ】 環境部みどり推進課みどり計画係 電話03-5984-1659